



わたしと友だちに
なつてはいけな(三)

石川宏千花

てづかまよ・絵

〈前号のあらすじ〉

マミヤくんの敵対者かと思われたカセくんだったが、二人は急速に仲良しに。不審に思ったメアリーが観察すると、カセくんはとても〈中立的な男の子〉だった。そんな中、マミヤくんはスナミさんが嫌いだと言います。不自然なことと思いつつも、マミヤくんの〈お願い〉はメアリーにとって絶対だった。

3

メアリーはこつこつと、種をまき続けた。
夜のあいだにスナミさんが整えておいた通学用バッグの
中身をほんの少しだけ乱しておいたり、朝のブラッシング